

# BUSINESS REPORT

# 2019.9

2020年3月期 第45期中間報告書  
2019.4.1-2019.9.30

## 会社の概況

商号 株式会社ミマキエンジニアリング  
設立 1975年8月  
資本金 43億5,746万円  
事業内容 コンピュータ周辺機器及び  
ソフトウェアの開発・製造・販売  
従業員 連結2,023名/単体836名

## 役員一覧

代表取締役会長 池田 明  
代表取締役社長 池田 和明  
専務取締役 竹内 和行  
常務取締役 三宅 洋  
取締役 羽場 康博  
取締役 清水 浩司  
取締役 牧野 成昭  
社外取締役 蓑毛 誠子  
社外取締役 山田 一郎  
社外取締役(監査等委員) 善野 洋  
取締役(監査等委員) 田中 規幸  
社外取締役(監査等委員) 田中 誠  
社外取締役(監査等委員) 荒井 寿光

## 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

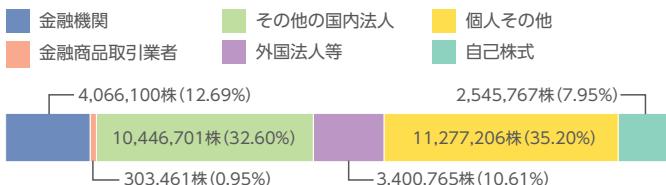
## 株式の状況

発行可能株式総数 128,160,000株  
発行済株式の総数 32,040,000株  
株主数 5,408名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社池田ホールディングス	4,497,200	15.25
有限会社田中企画	2,330,000	7.90
田中 規幸	2,026,800	6.87
東京中小企業投資育成株式会社	1,524,000	5.17
ミマキエンジニアリング従業員持株会	1,422,400	4.82
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	1,304,800	4.42
日本スタートラスト信託銀行株式会社	1,274,200	4.32
株式会社八十二銀行	840,000	2.85
アデキパートナーズ株式会社	833,200	2.83
エプソンアヴァシス株式会社	720,000	2.44

## 所有者別状況



## 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで  
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内  
基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ  
公告して定めた日  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
公告方法 当社ホームページ(<https://ir.mimaki.com/>)に掲載いたします。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部  
証券コード 6638

### (ご注意)

- 株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



**Mimaki**  
株式会社 ミマキエンジニアリング

3Dサンプル「上田城」  
城跡: 縮尺1/378 (160時間)  
南櫓: 縮尺1/55 (60時間)

私たちは、独自のラスタ技術(インクジェット等)とベクター技術(カッティング等)を柱とした市場志向の製品開発により、デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーを目指しています。

経営ビジョン

1

独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「開発型企業」を目指します。

2

顧客に満足いただける製品を素早く提供する小回りの利いた会社を目指します。

3

市場に常に「新しさと違い」を提供するイノベーターを目指します。

4

各人が持っている個性・能力を一杯発揮できる企業風土を目指します。



ミマキが目指す組織と企業像

代表取締役会長  
池田 明



代表取締役社長  
池田 和明



イノベーターの集団でありつづけるために、そして各人が持っている個性、能力を一杯発揮し、マーケットの潜在ニーズを素早く捉え解決するために、当社では経営企画・技術・営業・生産・管理の5本部体制のもと、小集団によるグループ別独立採算制を追求するGIPS経営を行っています。

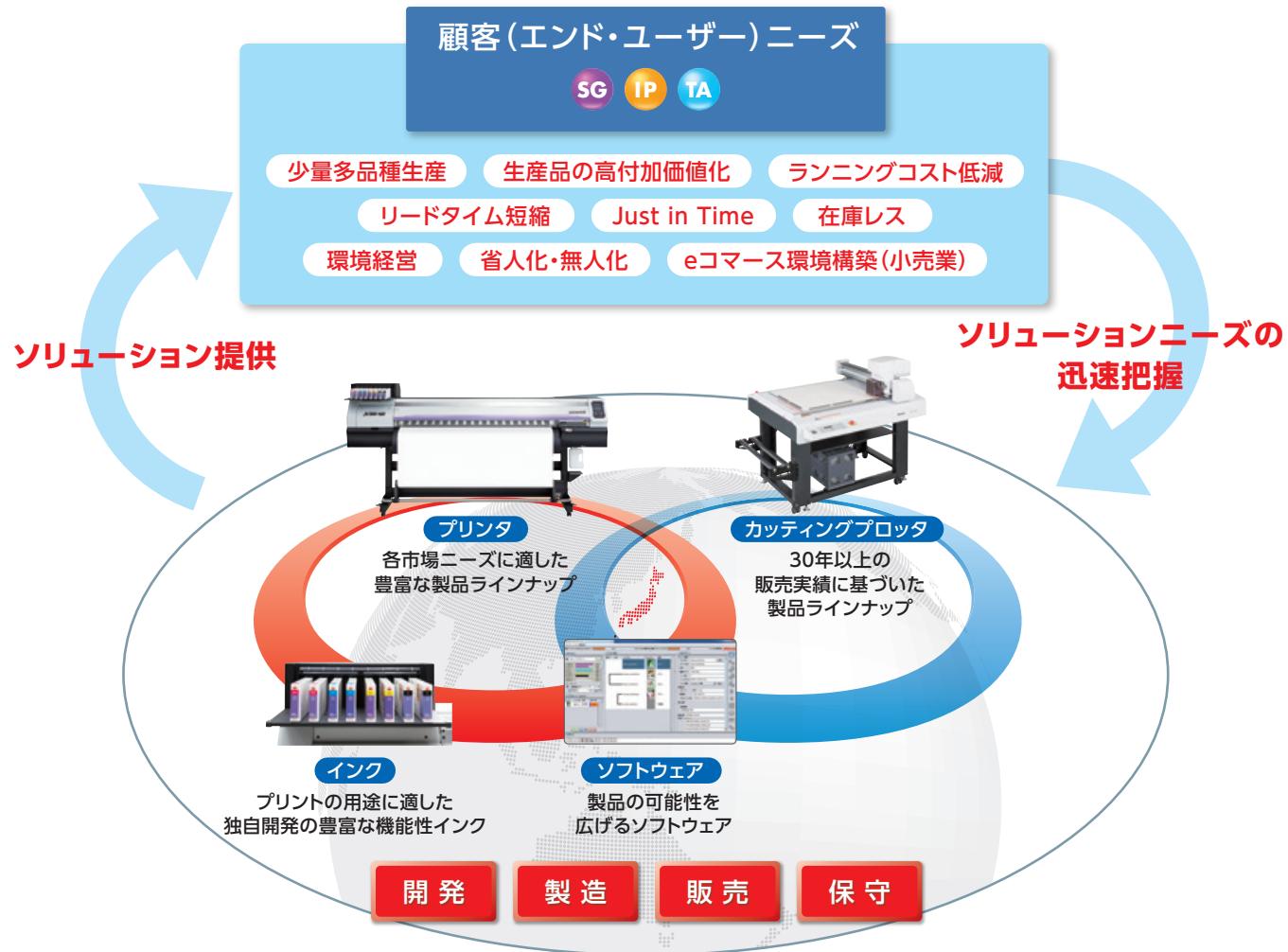
GIPS (Group Independent Profitability management System) では、各グループが明確な役割と責任を持ち、それぞれがあたかも町工場であるかのように自主的に活動します。

そして各グループの活動成果としての付加価値を明確にし、各グループにおいてリーダーを中心に自部門の採算向上を実現するため、各グループのメンバー全員が問題点を共有し、その解決に当たります。これを通し社員全員が経営に参加し、一人ひとりが採算意識を持ち、信頼をベースにした葡萄の房のような小さな果実の集合体にしていきたいと考えています。



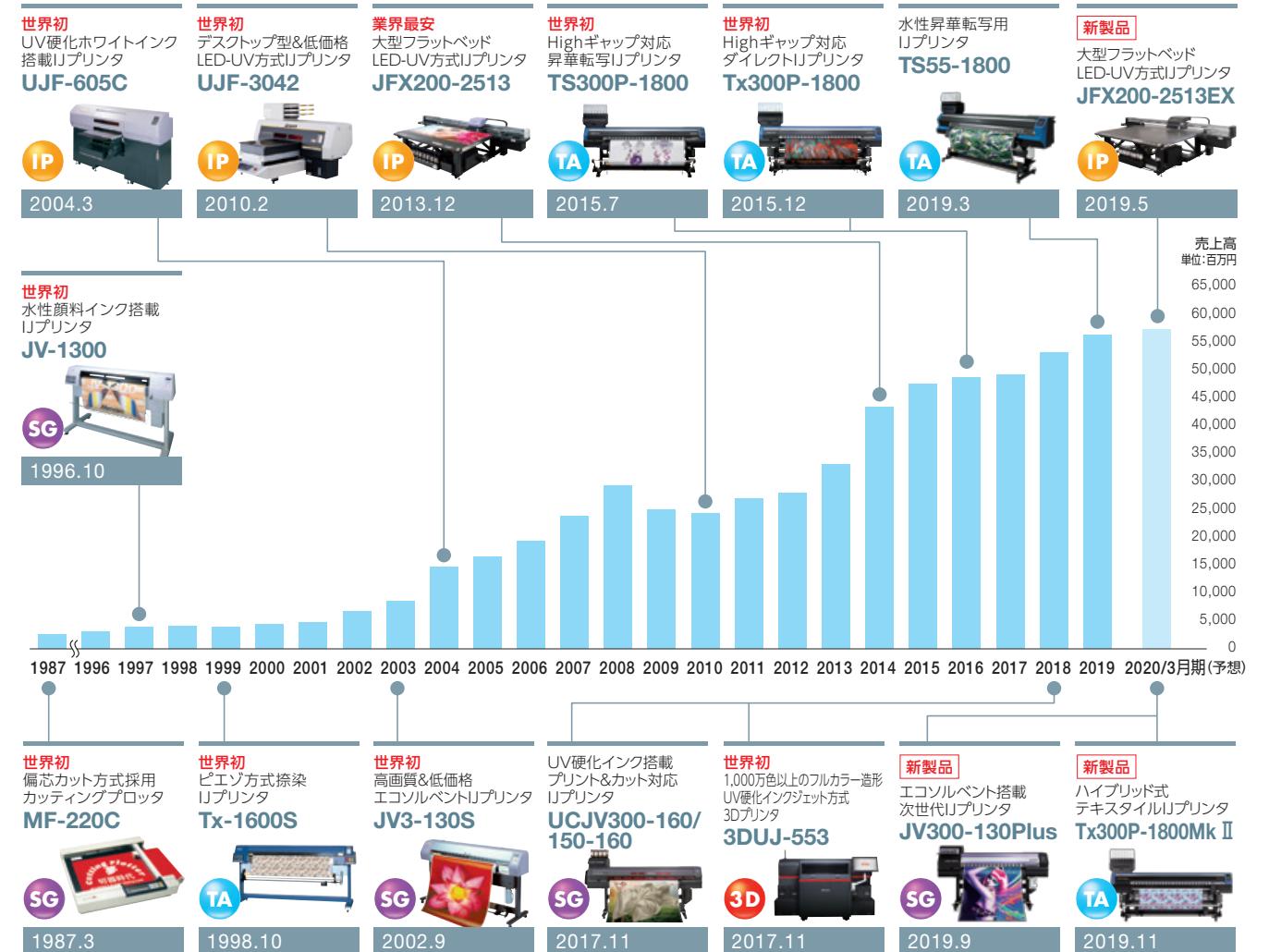
## 市場ニーズに合わせたトータル提案

当社は、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、インク等の開発・製造・販売・保守サービスを一貫して行う開発型企業です。独自のラスタ技術(インクジェット等)とベクター技術(カッティング等)を駆使してデジタルオンデマンドプリントのさらなる進展を推し進めるとともに、顧客満足を提供できる開発型企業を目指します。



## Mimakiの歩みはイノベーションの歴史

デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーとして、多様なニーズを迅速かつ的確に捉え、そこに狙いを絞った製品を素早く提供することで、今後も新たな市場と顧客を創出してまいります。



## 3つの販売市場に向けての製品提供とFA事業展開

各市場の各プレーヤーにとって最適な製品を常に提供し、各市場を拡大させます。

### Sign Graphics

SG

#### サイン グラフィックス

大型ポスター、カーラッピング、のぼり旗、表示板といった広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・塩ビシート
- ・バナーシート
- ・ウィンドウフィルムなど



### Textile & Apparel

TA

#### テキスタイル・ アパレル

裁断・縫製加工前の生地や既製服などファストファッション・スポーツウェア業界のほか、ファニチャー業界で拡大している製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・ポリエステル
- ・レーヨン
- ・綿
- ・絹



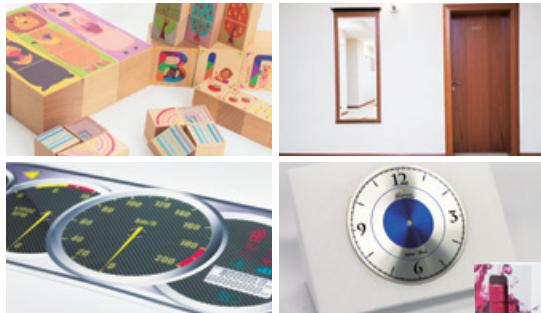
### Industrial Products

IP

#### インダストリアル プロダクツ

自動車の計器パネルや家電類の操作パネル等の工業製品のほか、一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダーグッズ等の生産現場等で使用されている製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・プラスチック
- ・金属
- ・アクリル
- ・木材など
- ・ガラス



### Factory Automation

FA

#### ファクトリー オートメーション

ベクター技術、メカトロニクス技術を基に5つの事業を展開。



FA装置事業



基板実装装置事業



金属加工事業



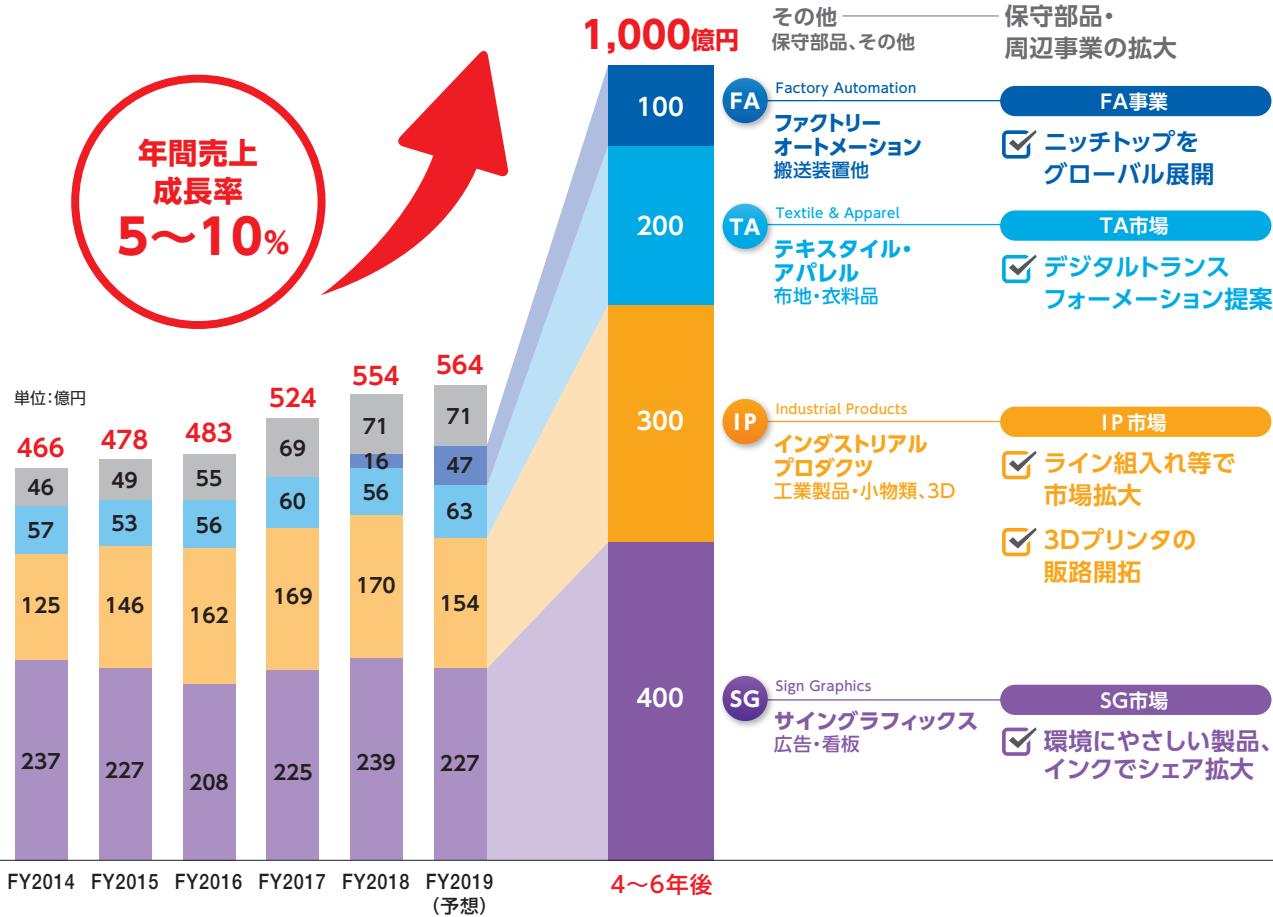
半導体製造装置事業



基板検査装置事業

# M1000 3.0 / 「新しさ」と「違い」

年間売上  
成長率  
5~10%



当社はこれまで、「新しさ」と「違い」を提供することを経営ビジョンとして掲げ、革新的な製品の開発・製造・販売を通して産業用インクジェットプリンタの市場を創造してまいりました。今後も各市場の顧客にとって最適なソリューションを提供し続けることで、年商1,000億円超の「真のグローバル企業」を目指します。



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。昨今の台風等により被災されました皆様に対して、心よりお見舞い申し上げますとともに被災地が一日も早く復興されることをお祈り申し上げます。ここに、第45期第2四半期累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業の状況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 池田和明

## 当第2四半期累計期間について

当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高273億63百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益5億51百万円(同63.7%減)と増収減益となりました。

市場別売上高に関して、SG市場向けとIP市場向けが減収でしたが、TA市場向けが増収となりました。また、前年10月にM&Aで取得したアルファードesignグループのFA事業が新たに加算されました。SG市場では、UVインク搭載の「UCJVシリーズ」が競争力を保持している反面、溶剤系インクを搭載した「JVシリーズ」の売上高が減少しました。IP市場では、5月に発売開始した大型機種「JFX200-2513EX」は好調ですが、小型の主力機種「UJFシリーズ」の売上高が減少しました。TA市場では、3月に市場投入した新製品「TS55-1800」が牽引して増収を果たしております。なお、FA事業とはファクトリーオートメーション装置や基板実装装置を中心にアルファードesignグループが手掛ける事業の総称です。前第4四半期から連結化しているため当第2四半期累計期間においては増収要因となりました。

エリア別売上高では、円高ユーロ安が想定以上に進行し、主要国の景気が低迷した欧州エリアで厳しい状況にあるものの、その他のエリアは概ね堅調です。特に、これまで販売シェアの縮小が続いていた中国では、販売チャネル再構築の成果でようやく増収基調となりました。また、北米市場や日本・アジア・オセアニア市場も引き続き順調に推移しました。

減益となった主な要因は次の4点、①SG市場とIP市場の競争激化による採算悪化、②売上高に連動するべき経費コントロールの遅れ、③FA事業の受注減少に伴う採算悪化、④対ユーロや新興国通貨での円高進行による利益率低下、と認識しています。

## 通期の業績見通しとビジョンについて

2020年3月期(以下、今期)の連結業績予想は、売上高564億50百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益14億50百万円(同

51.8%減)に下方修正しました。主な理由は、足元の実績状況と今後の市場動向を鑑みて、計画の見直しを行ったためです。また、ユーロの為替前提も下期から円高(1€:122円→117円)に修正しています。

第3四半期以降は次の4点を重点課題と位置付けています。①SG市場とIP市場に向けて、競争力の高い製品を軸にした販促策を展開するとともに、新製品開発にも取り組みます。②売上高の増減に見合った経費コントロールに努めます。③FA事業の売上増加と収益力強化に努めます。④インクの消費地生産を中期的に拡大する等により為替感応度の低減を図ります。

今期は厳しい事業環境を想定していますが、中期的に年商1,000億円を目指す方針に変更はありません。当社は、単に「アナログ」から「デジタル」への転換を促すのではなく、バリューチェーンを含めた「デジタルトランスフォーメーション」を生産現場に提案することで成長軌道を維持します。

## 株主様へのメッセージ

台風19号の影響により、千曲川流域の広い範囲で浸水被害が発生しました。当社は千曲川流域に本社・工場等の主要施設を構えておりますので、株主の皆様には多大なご心配をおかけいたしました。施設の軽微な損傷やサプライチェーンの一時的な乱れこそありましたが、幸い人的被害も浸水被害もなく、事業運営に全く問題のない旨を、まずご報告申し上げます。また、被災に際しましては、株主様はじめステークホルダーの皆様からは温かい応援のお言葉を頂戴し心強い限りでございました。併せて御礼申し上げます。

世界中で災害が増加する中、事業の成長と同様にサステナビリティ(持続可能性/社会と地球環境を保持し続ける取り組み)の重要性を痛感しております。当社は、前出の「デジタルトランスフォーメーション」を的確に捉えて、資源循環型の経営・技術を実現することは株主様のご期待に叶うものと考えております。引き続きのご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

国内拠点

本社・牧家工場  
長野県東御市滋野乙2182番地3

加沢工場  
長野県東御市加沢1333番地3

長野開発センター  
長野県長野市北長池520番地1

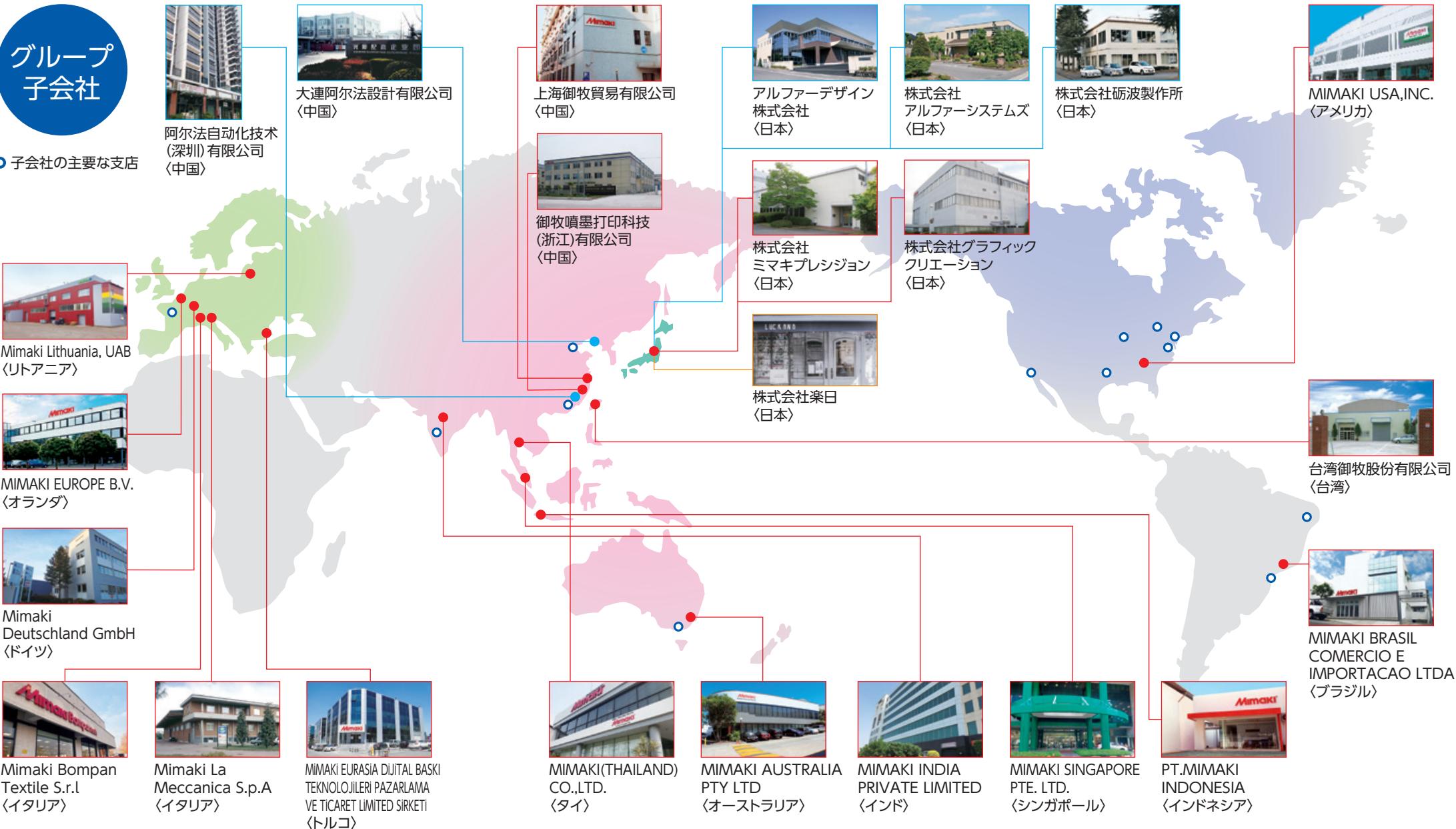
八王子開発センター  
東京都八王子市  
北野町593番地6

JPデモセンター  
東京都品川区  
西五反田7丁目  
22番地17  
TOCビル6階

営業拠点  
東京、大阪、札幌、仙台、長野、横浜、さいたま、  
西東京、北関東(宇都宮)、金沢、名古屋、  
京都、神戸、広島、四国(高松)、福岡

グループ  
子会社

● 子会社の主要な支店





「JV300-130 Plus」「CJV300-130 Plus」「CG-130FX II Plus」販売開始

SG

これまでの技術に新たなテクノロジーを「Plus」することで、働き方改革と環境負荷低減を実現する次世代製品。無人連続カットを可能にする新機能「IDカット機能」と、ネットワークケーブルを通じてプリンタにデータ送信可能な新接続方式「Ethernet接続」を追加することで、省人化&効率化を実現しました。また、「JV/CJV300-130 Plus」にはエコインクカートリッジシステムを採用。プラスチックケースを再利用して中身のインクパックを入れ替えることで、プラスチック使用量低減による環境保全とインク単価の低減を両立させています。



2019年9月発売

**JV300-130Plus** **CJV300-130Plus** **CG-130FXIIPlus**

大判オートトリマー「AT Series」販売開始

SG

看板やPOPのカット、ラミネート後の縁取りなどのトリミング作業を安全かつ効率的に行う大判オートトリマー。トリミング作業をスイッチひとつで行えるため、作業者が負傷するリスクを低減し作業効率が向上します。



2019年10月発売

**AT-165/200/250**

「Tx300P-1800Mk II」販売開始

TA

布と紙の両方にプリント可能なハイブリッド式テキスタイルインクジェットプリンタ。2種類のインクを同時に搭載し、ユニットの切り替えを行うことで、ファッションアパレルや壁紙など幅広い用途で使用できます。

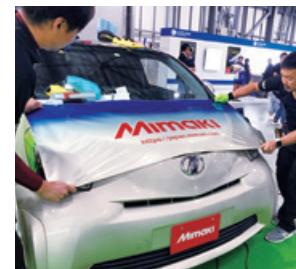


2019年11月発売

**TX300P-1800MkII**

「SIGN&DISPLAY SHOW2019」に出展

2019年8月、東京ビッグサイトにて行われた「SIGN&DISPLAY SHOW2019」に出展しました。インクジェットプリンタ及びインクジェットプリンタと連携した後加工機による制作についてのワークフロー提案や、1日2回のカーラッピング実演セミナーを行いました。



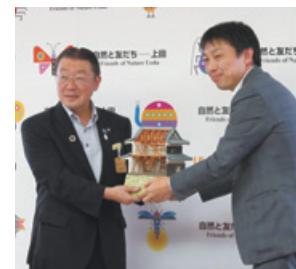
関東地方発明表彰にて「長野県知事賞」を受賞

当社の「3Dフルカラー造形物および造形方法」（特許第6261363号）が、公益財団法人発明協会が主催する令和元年度関東地方発明表彰において、「長野県知事賞」を受賞しました。



上田城の模型を上田市に寄贈

2019年8月、当社3Dプリンタ「3DUJ-553」で出力した「上田城跡地形及び南櫓」の造形物を長野県上田市に寄贈しました。模型は上田市役所に展示され、上田城認知度向上のためイベントや教育機関で活用されます。



信州上田真田忍者まつりを主催

2019年9月、長野県上田市にて「信州上田真田忍者まつり」を開催しました。地元上田の真田忍者を通じた地域の活性化と親睦を深めることを目的として企画し、小学生らが忍者の世界を体感しました。



沿革

- 1975年 8月 (有)ミマキエンジニアリング設立
- 1981年 5月 (株)ミマキエンジニアリングに改組
- 1983年 12月 OEM向けA2フラットベッドペンプロッタ RY-1003開発開始
- 1985年 2月 「北斎」の商標で、A2フラットペンプロッタ販売開始
- 1986年 3月 加沢工場操業開始
- 1995年 7月 台湾御牧牧股份有限公司設立

- 1999年 1月 ISO 9001 認証 (審査登録)
- 9月 MIMAKI USA 設立
- 2003年 10月 長野開発センター開設
- 2004年 4月 (株)ミマキプレジション設立
- 4月 MIMAKI EUROPE 設立
- 9月 長野県東御市に牧家工場取得
- 2005年 4月 テクニカルコールセンター開設

- 2006年 4月 (株)グラフィッククリエーションを子会社化
- 8月 本社を長野県東御市滋野乙に移転
- 2007年 3月 ジャスダック証券取引所上場
- 12月 御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司設立
- 2008年 7月 Mimaki Deutschlandを子会社化
- 2009年 1月 ISO14001 認証 (審査登録)
- 6月 上海御牧貿易有限公司設立

- 2010年 8月 平湖御牧貿易有限公司設立
- 2011年 11月 MIMAKI INDONESIA 設立
- 2013年 4月 MIMAKI AUSTRALIA 設立
- 4月 MIMAKI SINGAPORE 設立
- 7月 MIMAKI INDIA 設立
- 2015年 3月 東京証券取引所市場第一部に市場変更
- 5月 八王子開発センター開設

### FabCafeの展示会に協賛

2019年8月から9月にFabCafe Tokyoにて行われた「透明も色も3Dプリントされた展示会～福井信明 極彩色 造形作品展～」に協賛しました。一人の作家の作品展としては国内最大級のフルカラー3Dプリントの展示会で、当社のフルカラー3Dプリント技術によって実体化された物語に溢れた作品を展示しました。作品のガラスや海中に漂う生物は、当社の技術によって鮮やかに表現されました。



HOPBOX 福井信明

### テレビ東京系列「自慢したい人がいます ～拝啓 ひねくれ3様～」にて特集されました

2019年10月12日、毎週土曜日22:30～23:00にテレビ東京系列で放送されている「自慢したい人がいます ～拝啓 ひねくれ3様～」にて、当社の3Dプリント技術が放映されました。

世界初のフルカラー3Dプリンタと今後の展望が特集され、当社のプリンタで作られた軍艦島や熊本城の3D模型が紹介されました。



3D造形サンプル 軍艦島

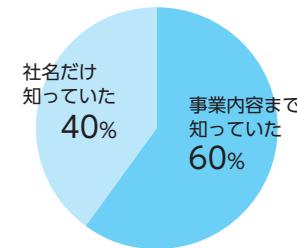


撮影風景

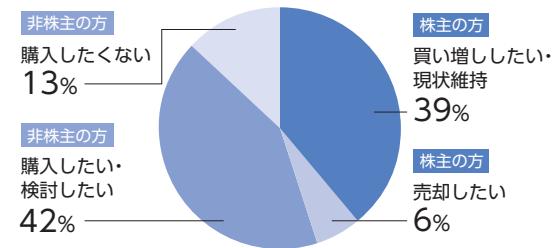
### 個人投資家向けIR活動を実施

2019年6月、9月、10月に個人投資家向け会社説明会を開催しました。質疑応答では、個人投資家の皆様からさまざまなご質問・ご意見をいただきました。開催後に行った、参加者様アンケートの結果を一部ご紹介します。

#### 1. 当社のことを知っていたか



#### 2. 当社への投資についての印象



### オンライン会社説明会を実施

2019年10月、SBI証券のホームページにてオンライン会社説明会を実施しました。この説明会は、全国の皆様に当社の事業概要についてより深くご理解いただく機会として初めて開催したものです。

配信日時: 2019年10月31日～2020年1月31日  
 視聴方法: SBI証券ホームページ内、「セミナーのご紹介」よりご覧いただけます。

#### ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報やプレスリリースなどの最新の情報に加え、当社の事業概要、製品、サービスをより深くご理解いただくためのコンテンツをご用意いただけます。ぜひアクセスしてください。



企業・IRサイト TOPページ

IRライブラリ

携帯電話やスマートフォンをお使いの方は右のQRコードからもアクセスできます。

アクセスはこちら

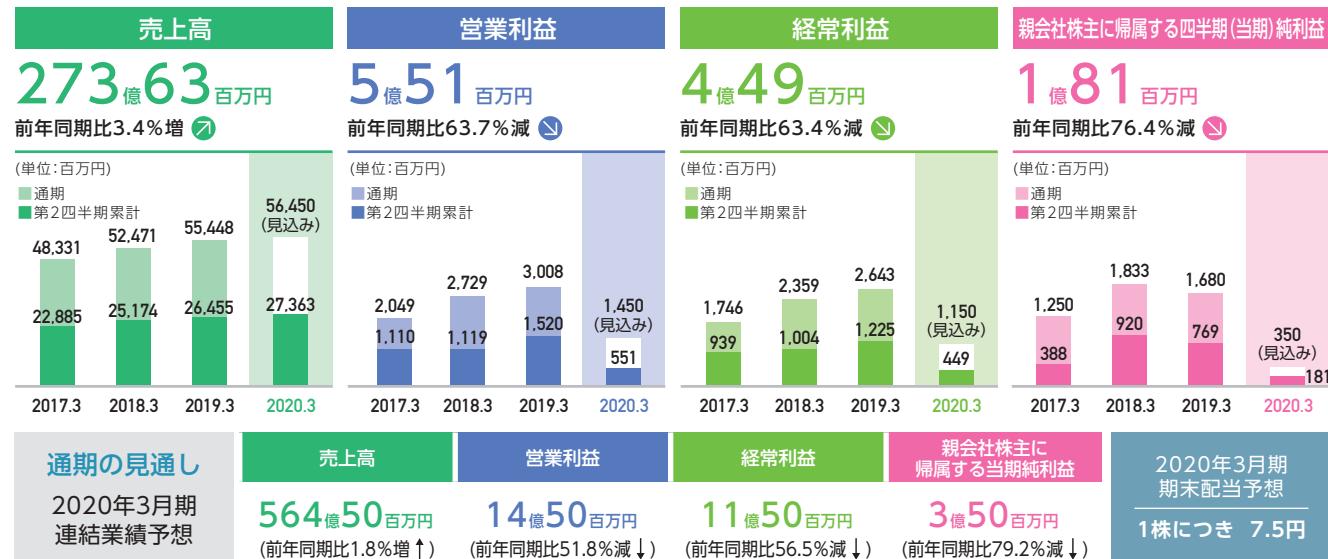
<https://ir.mimaki.com/>

公式SNSはこちら

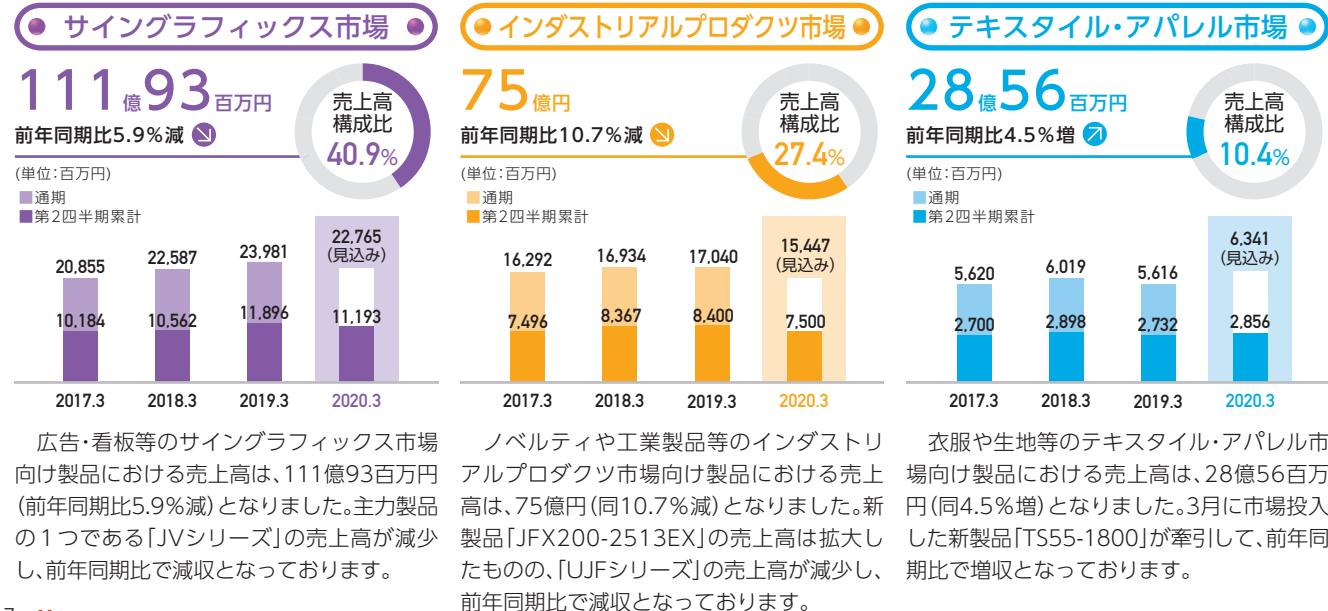
- Facebook <https://www.facebook.com/mimakiengineering/>
- YouTube <https://www.youtube.com/user/MimakiPR/videos>
- Instagram [https://www.instagram.com/mimaki\\_japan/](https://www.instagram.com/mimaki_japan/)



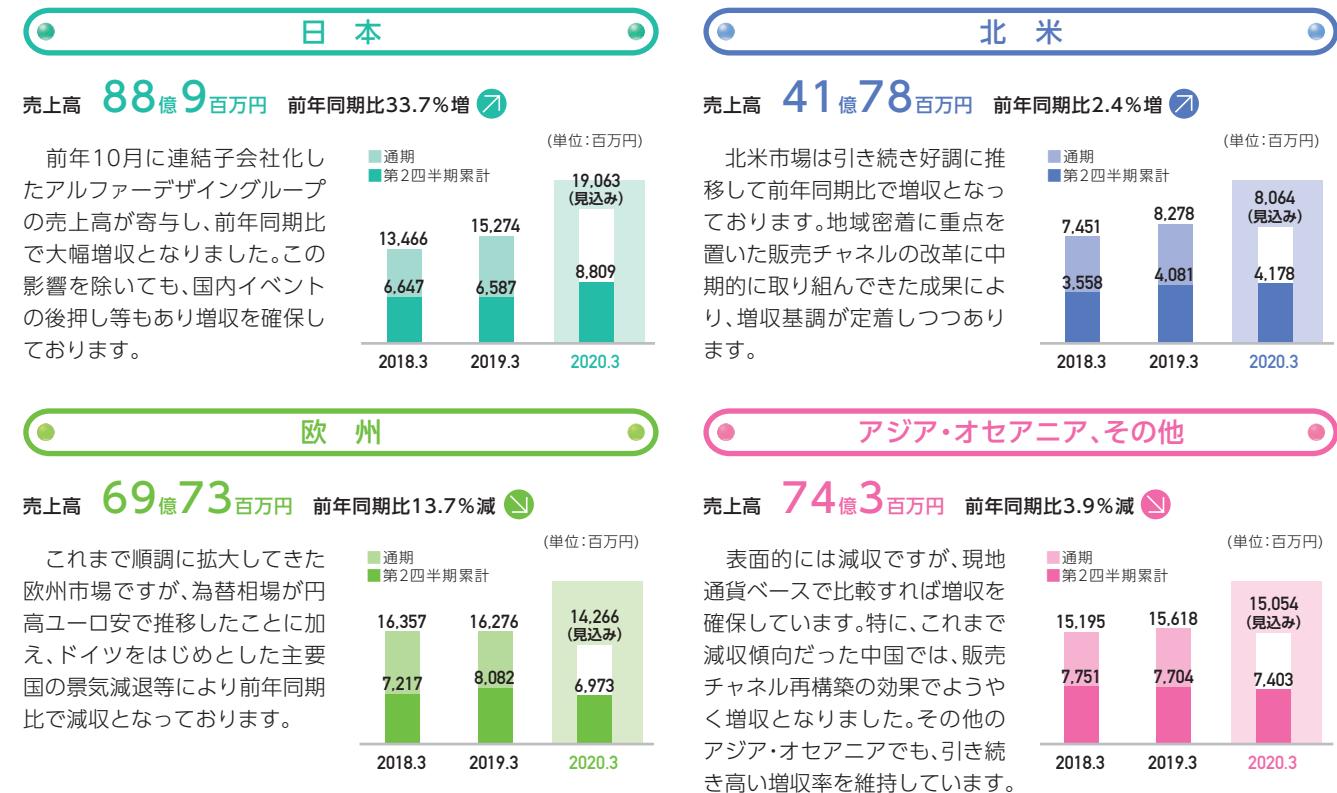
連結業績ハイライト



市場別状況



エリア別状況



2020年3月期第2四半期累計実績 エリア別売上高構成比 品目別売上高構成比

